



# 櫻 KEYAKI

第7号  
2019.7.19  
発行

## 『自律』した行動がとれましたか？ そして自分に自信が持っていますか？

ようやく1学期の終業式の日を迎えました。なにかと慌ただしく長かった1学期もようやく終わりです。みなさんにとって1学期はどうでしたか？

今年度は『自律』ということ为学校生活でのテーマにしてほしいと、始業式や入学式でみなさんに話しました。あらゆる場面で、自分で考え判断し、行動する。自分の行動には責任を持つ。そのような1学期になったでしょうか。

『自律』につながる話ですが、政府は6月中旬に「令和元年版子供・若者白書」を閣議決定しました。その白書の中で、昨年末に行った内閣府の調査結果を紹介しています。日本の若者（13～29歳）の意識の現状を、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンと比較した結果が示されました。少し紹介します。

### ○自分自身に満足している

※「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた割合

日本	45.1%	韓国	73.5%
アメリカ	87.0%	イギリス	80.1%
ドイツ	81.8%	フランス	85.8%
スウェーデン	74.1%		

### ○自分には長所がある

日本	62.2%	韓国	74.2%
アメリカ	91.2%	イギリス	87.9%
ドイツ	91.4%	フランス	90.6%
スウェーデン	72.7%		

次に、能勢中生の意識を見てみましょう。1学期に取ったアンケート結果です。

### ○わたしは今の自分が好き（肯定的回答）

1年生	53.7%	2年生	77.4%	3年生	57.7%
-----	-------	-----	-------	-----	-------

### ○わたしにはいろいろいいところがある（肯定的回答）

1年生	47.8%	2年生	66.0%	3年生	57.7%
-----	-------	-----	-------	-----	-------

日本の若者の自己肯定感の低さがこの調査からもわかります。能勢中生の意識も、以前よりは少しずつ高くなってきているものの、まだ低めなのは残念です（2年生はかなり高くなってきてうれしいのですが…）。

私はお世辞抜きに能勢中生は素敵な生徒が多いと思っています。もっともっと自分で自分のよさに気づいてほしいし、自信をもっていろいろなことにチャレンジしてほしいと思っています。

## 『リフレーミング』って知っていますか？

「みなさんは自分のどこが好きですか？短所に見えるところも、見方を変えると長所になりますよ」。これがリフレーミングです。物事の枠組みを違った角度から見ることをリフレーミングというのですが、長所と短所は表裏一体。自分がだめだと思っていることが、実は自分自身の武器にもなったりするのです。その例をいくつか書き出してみます。

○気性がはげしい→情熱家	○すぐ調子に乗る→雰囲気明るくしてくれる
○だらしない→おおらか	○出しゃばり→世話好き・人の役に立ちたい
○消極的→慎重・控えめ	○がんこ→意志が強い・信念がある
○気が弱い→がまんづよい	○あわてんぼう→すぐ行動できる
○変わってる→個性がある	○うるさい→明るくて活発・元気

誰もが「自分を変えたい」と思うことはよくあります。でも「自分を変える」とは、今の自分をゼロにして新しいものにかえることではありません。今の自分を否定せず、今の自分をより磨いていくこと、そして輝かせることこそが自分を変えていくということです。みなさんは、これからもっともっと輝くのです。輝かせるのは、自分自身です。すこし見方を変えるだけでいいのです。やってみましょう！

## 保護者の皆様へ（道徳の評価について）

今年度から中学校では「特別の教科 道徳」の授業がスタートしました。子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることをめざして、週に1回のペースで授業を行っております。

一人ひとりの子どもが授業を通して、道徳的価値の理解を自分自身の中で深めているか、多面的・多角的な見方へと発展しているかなどの変容をしっかりと見取るには、授業での様子や感想等を集め、長期間をかけて一層丁寧に見ていくことが大切であると考えています。

そこで、中学校では「特別の教科 道徳」を、学期ごとの評価ではなく、年間を通して評価することといたしました。通知表の評価欄は、1,2学期は空欄とし、3学期に年間の評価を記入してお渡ししますので、ご了承のほどお願いいたします。